

## 東洋大学大学院生命科学研究科論文提出基準等(抜粋)

### ○修士学位論文

#### 【修士学位論文提出要件】

- ① 本研究科の定める修了に必要な単位を修得済みまたは修得見込みであること。
- ② 本研究科の定める研究指導を受け、学位論文提出について主副指導教員の同意を得ていること。
- ③ 本研究科の定める中間研究発表会で発表を行っていること。
- ④ 学位論文題目を本研究科の定める期間内に申請していること。

(特定課題研究論文)

上記、修士論文に準じる。

#### 【修士学位論文審査基準】

- ① 学位申請者が主体的に取り組んだ研究成果からなり、論文の新規性が明示されていること。
- ② 文献資料などによる先行研究の調査が適切であり、研究の位置付けを明示していること。
- ③ 研究の方法が妥当であり、明確かつ具体的に記述されていること。
- ④ 結果および考察の展開が論理的かつ説得力があること。
- ⑤ 参考文献の引用が適切になされ、論文としての体裁が整っていること。

(特定課題研究論文)

広い視野に立って生命科学の精深な学識を身につけ、持続可能な社会を構築するために求められる卓越した能力を培ったことを伺わせる水準であること。ただし、論文の分量は、通常の修士学位論文に求められる分量に満たないものであることを妨げない。

### ○博士学位論文（甲論文）

#### 【博士学位論文提出要件（甲論文）】

- ① 原著論文が1報以上あること（掲載決定通知でも可）。少なくとも1報は、論文の査読が厳格になされている英文学術雑誌に第1著者として掲載されている full paper 相当のものであること。他大学において博士前期（修士）課程を修了後、本研究科の博士後期課程に入学した者については、博士後期課程において発表した上記基準を満たす原著論文が1報以上あること。
- ② 本研究科の定める中間報告会で報告を行っていること。

#### 【博士学位論文審査基準（甲論文）】

- ① 学位請求論文が、国際的な幅広い視野に立ち、従来の研究成果を踏まえ、高度な専門性を基盤とした独創性のある研究で、当該研究分野において新規の知見を提供するものであること。
- ② 学位請求論文が、上記1.に加え、高い完成度を有し、首尾一貫した論理に支えられたものであること。
- ③ 学位請求論文が、提出者の高い学識および研究能力を示す論文であること。

#### ○博士学位論文（乙論文）

##### 【博士学位論文提出要件（乙論文）】

- ① 4年制大学を卒業後6年以上（短期大学卒業後では8年以上、高校卒業後では10年以上）を経過し、少なくとも5年間は研究業務又はそれに準ずる業務に従事していること。
- ② 原著論文が5報以上発表されていること。そのうち少なくとも3報は、論文の査読が厳格になされている英文学術雑誌に第1著者として掲載されている full paper 相当のものであること。なお、過去に学位取得のために使用した原著論文を使用することはできない。連名者がある場合には、別に定める承諾書の提出が必要である。
- ③ 上記英文学術論文が既に出版されている場合は、別刷1部を論文提出時に研究科長に提出すること。掲載決定の段階である場合は、通知の事実を示す資料（メール、書簡等）を添付し、刊行後は、遅滞なく別刷を研究科長に提出すること。

##### 【博士学位論文審査基準（乙論文）】

- ① 学位請求論文が、国際的な幅広い視野に立ち、従来の研究成果を踏まえ、高度な専門性を基盤とした独創性のある研究で、当該研究分野において新規の知見を提供するものであること。
- ② 学位請求論文が、上記1.に加え、高い完成度を有し、首尾一貫した論理に支えられたものであること。
- ③ 学位請求論文が、提出者の高い学識および研究能力を示す論文であること。

以上

2020年3月